

第9回 沖縄県アンダー40 設計競技 ティータフラッグス 2020 審査講評

県内の若手建築家を対象とするコンペも9回目を迎え、今回は、43の力作が提案されました。次世代を担う若い建築家の皆様方からの大きな支持が広がっていることを実感し、心からうれしく思います。

今回も若手らしい斬新でユニークなアイデアと課題に対する真摯な取り組みが強く感じられ、非常にレベルの高い優れた提案がなされました。そうした中から一次審査では、課題に対する解決力、実施案としての実現可能性、さらにはプランの表現等を審査員で熟議し、7作品を最終審査の対象としました。

最終審査では、公開でのプレゼンテーションと質疑応答を実施し、選考委員による公開での投票の結果、金賞（作品番号1）、銀賞（作品番号4）、銅賞（作品番号14、31）の4作品を選出しました。

金賞（作品番号1）の作品は、テーブルサンゴをイメージした強固な柱と大屋根のデザインは、“沖縄らしい”骨太さに大きな魅力があります。利用方法や景観に調和するよう配慮されている点等で高く評価された作品でした。

銀賞（作品番号4）の作品は、荷捌き施設としてスタンダードなデザインでありながら、既存施設との関係性を意識した動線計画や斬新な構造形式等で評価されました。

銅賞（作品番号14）の作品は、シンプルモダンな佇まいや天井のアルミパネルが演出する鏡面性、メンテナンス性等が評価された作品でした。

銅賞（作品番号31）の作品は、CLTで構成された大屋根のとても軽快で周辺環境に馴染むプロポーション等が評価されました。

また、前回に引き続き今回も6つの学生作品の中から学生賞1点を決定しました。学生賞（作品番号43）の作品は、ガジュマルをモチーフにした明快で大胆なデザイン等が評価されました。

今回の公開プレゼンには大勢の参集を賜り、沖縄建築界の躍動する将来を感じさせるコンペとなりました事は、大きな成果といえましょう。本事業に参加された皆様、そして事業を推進された沖縄県、並びに沖縄県建築士会に感謝すると共に、沖縄建築界の益々の発展を祈念いたします。

選考委員長 伊礼 智（有限会社伊礼智設計室 代表取締役） 印

